

第 1821 号
令和5年9月1日

裁判所時報

発 行
最高裁判所
事務総局
(毎月1日・15日発行)

(目 次)

◎記事 1

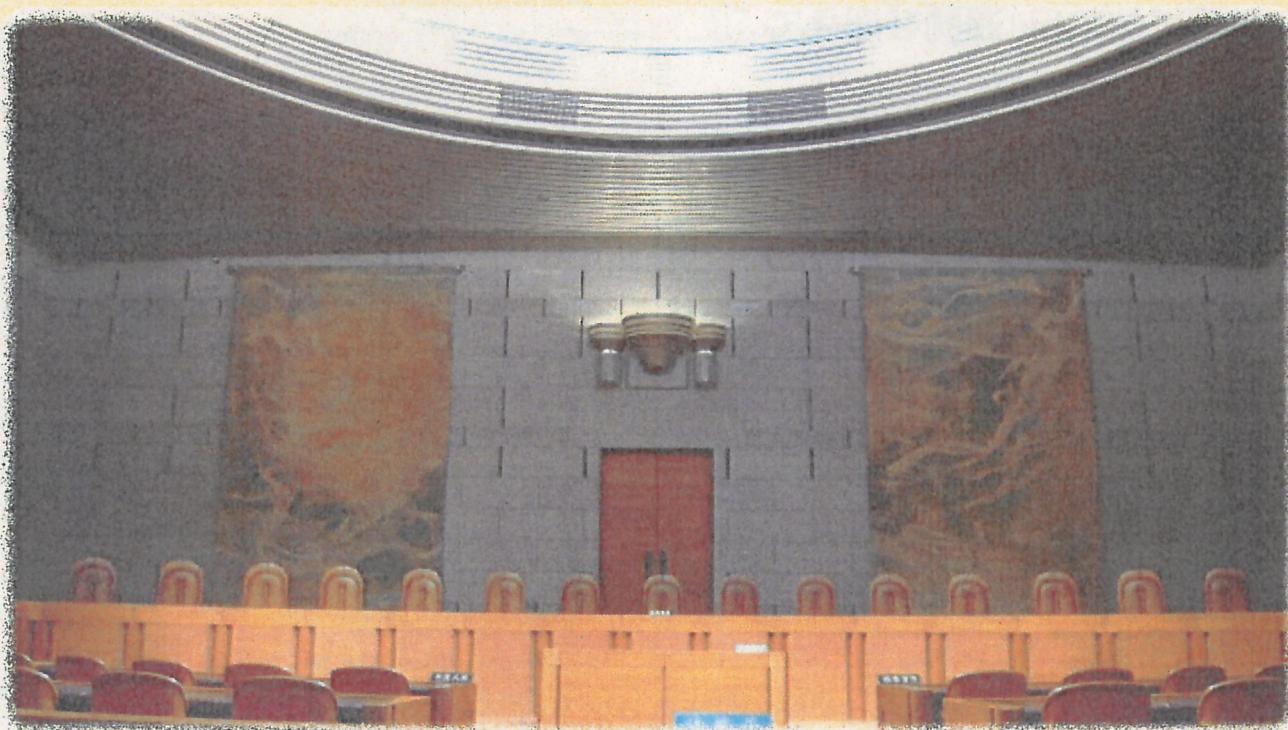
- 広報テーマ（10月分）
- 叙位・叙勲（6月分、死亡者のみ）
- 人事異動（8月2日～8月17日）

◎裁判所だより 3

- 「樽前山を望む北海道の海の玄関 苫小牧」
(札幌地方・家庭裁判所苫小牧支部、苫小牧簡易裁判所)

◎告示 4

- 最高裁判所告示第三号



記事

◎広報テーマ(10月分)

国際知財司法シンポジウム2023

Judicial Symposium on Intellectual Property/TOKYO2023-JSIP2023

～アジアにおける知的財産紛争解決～

IP Dispute Resolution in Asia

開催日

2023年(令和5年)

10月17日(火)、18日(水)、19日(木)

プログラム 言語:日本語・英語(同時通訳)

10月17日(火)13:30～18:00

①基調講演(知財紛争解決の現状と展望について)

②パネルディスカッション(知財紛争解決の国際比較)

10月18日(水)13:30～18:00

③基調講演(知財紛争解決のための裁判と官庁訴訟)

④パネルディスカッション(ECサイト等のプラットフォームによる知財紛争)

⑤パネルディスカッション(知財紛争解決のための官庁訴訟・国際訴訟)

10月19日(木)13:30～18:00

⑥パネルディスカッション(知財紛争解決に関する国際比較)

⑦パネルディスカッション(知財紛争解決の展望について)

(パネリスト) 以下の国の裁判官・弁護士・審判官・政府関係者等
日本、インド、シンガポール、タイ、大韓民国、中華人民共和国、ベトナム等(他ASEAN諸国もオンラインで参加予定)

知財紛争に関する司法制度や近時の知財トピックについて、各国の法曹関係者や審判官等が
模範裁判やディスカッションを行う「国際知財司法シンポジウム」を今年も開催します。本シ
ンポジウムは、2017年(平成29年)にスタートし、欧米やアジア諸国の裁判官等を招き
我が国の知財司法制度はもとより、世界各国の制度や運用に関する最新事情を提供するイベ
ントとして、毎回大変多くの方にご参加いただいております。
7回目の開催となる今回は、アジアにおける知財紛争解決に関する最新の議論と課題に
ついて、充実したプログラムを提供する予定です。

会場

弁護士会館2階講堂クレオ

東京都千代田区有明1-3
(東京メトロ有明駅1階出口直結)

主催

最高裁判所 知的財産高等裁判所 法務省
特許庁 日本弁護士連合会 弁護士知財ネット

協賛

国際協力機構 国際民商事法センター 日本経済団体連合会 日本商工会議所 日本知的財産協会 日本貿易振興
機構(令和5年6月28日時点確定分)

※本プログラムの詳細や問い合わせは、専用ホームページをご覧ください。
※会場や観覧の状況によっては、本会や会場(有明・有明駅)の状況により変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

(令和5年10月広報テーマ)

「法の日」週間を迎えて

10月1日は、「法の日」です。
「法の日」は、国民の皆さんに、法の役割や重要性について
考えていただくきっかけになるようにと、裁判所、検察庁及び
弁護士会の協議で提唱され、昭和35年、政府によって、「国
をあげて法の尊重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精神
を高めるための日」として定められました。



「法の日」週間行事で、法を身近に感じてみませんか?
裁判所、法務省、検察庁及び弁護士会では、10月1日からの1週間を「法の日」週間
とし、毎年、各種の行事を実施しています。
各地の裁判所の行事は、裁判所ウェブサイト(https://www.courts.go.jp/)や、各地の
裁判所の総務課でご案内しています。ぜひご参加いただき、法や裁判所を身近に感じてく
ださい。

*このスペースは、催しの案内など、各地の裁判所の広報活動にご利用ください。
(掲載例)
○月○日、○地方裁判所において、法廷等の見学会を行います。ふもってご参加ください。

◎叙位・叙勲 (6月分、死亡者のみ)

別紙「叙位・叙勲 (令和5年6月、死亡者のみ)」
のとおり

◎人事異動

東京高等裁判所判事	大野晃宏
同	渡邊英夫
同	佐藤隆幸
東京地方裁判所判事	藤田直規
東京地方裁判所判事補	谷矢 愛
東京地方裁判所判事	
事務総局家庭局付兼総務局付	山中仁美
事務総局家庭局付兼総務局付	
東京地方裁判所判事	瀧澤孝太郎
司法研修所教官	
東京高等裁判所判事	石井芳明
東京高等裁判所判事	
仙台地方・家庭裁判所判事	大川隆男
仙台地方・家庭裁判所判事	
仙台高等裁判所判事	宮田祥次
定年退官	
高松簡易裁判所判事	吉田 肇
	(以上8月2日)
定年退官	
東京簡易裁判所判事	玉井 隆
	(8月9日)
大阪高等裁判所判事	
福井地方・家庭裁判所長	長谷部幸弥
福井地方・家庭裁判所長	
大阪地方・家庭裁判所堺支部長	野田恵司
大阪地方・家庭裁判所堺支部長	
大阪高等裁判所判事	西村欣也
依願退官	
大阪高等裁判所判事	千葉和則
	(以上8月11日)
定年退官	
神奈川簡易裁判所判事	丸尾敏也
清水簡易裁判所判事	興石武裕
	(以上8月15日)
清水簡易裁判所判事	
東京簡易裁判所判事	水崎幹也
神奈川簡易裁判所判事	
甲府簡易裁判所判事	小野 昭
甲府簡易裁判所判事	
東京簡易裁判所判事	七尾 聡
定年退官	
札幌高等裁判所長官	白石史子

(以上8月16日)

札幌高等裁判所長官
東京高等裁判所判事

近藤宏子
(8月17日)

◎裁判所だより

「樽前山を望む北海道の海の玄関 苫小牧」

(札幌地方・家庭裁判所苫小牧支部、苫小牧簡易裁判所)

苫小牧市は、札幌市から南へ約60キロメートルの太平洋に面した勇払平野に位置しており、札幌、旭川、函館に次ぐ北海道第4位の人口約17万人を有する工業都市です。アイヌ語の「ト（沼）・マコマイ（山奥に入っていく川）」が地名の由来とされたとおり、豊かな水と木材資源に恵まれ、明治43年に製紙会社が苫小牧工場の操業を開始してから「紙のまち」として発展してきました。昭和38年に世界初の内陸掘込式人造港（苫小牧西港）が開港してからは、当初は石炭積み出し港として、その後は周辺に形成された臨海工業地帯とともに物流拠点としての発展が始まりました。昭和47年のフェリー就航から50周年を迎えた現在では、大洗、名古屋、敦賀など大都市圏と結ぶ7航路に加え、北米やアジアなどとのコンテナ航路を有する国内屈指の流通港湾に成長し、苫小牧港の取扱貨物量（令和2年）は全国第3位で、北海道内の港湾の取扱貨物量の約半分を占めるほどになっています。

苫小牧市は、アイスホッケーなどスケート競技が盛んで、市町村別漁獲量日本一のホッキ貝でも知られてきましたが、21世紀に入って苫小牧の名を一気に知らしめたのは、平成16年に行われた第86回全国高等学校野球選手権大会で苫小牧市内の高校が東北以北の高校として初の全国優勝を果たしたことでした。翌年の大会でも連続優勝して歴史を塗り替え、引き分け再試合に敗れて3連覇を逃した第88回大会決勝戦でのエースの投げ合いは、今もなお語り継がれています。

平成30年9月6日未明に北海道胆振東部地震が発生し、苫小牧市に隣接する厚真町で最大震度7を観測するとともに、道内全域が数日にわたってブラックアウトしたことは、未だ記憶に新しいところです。



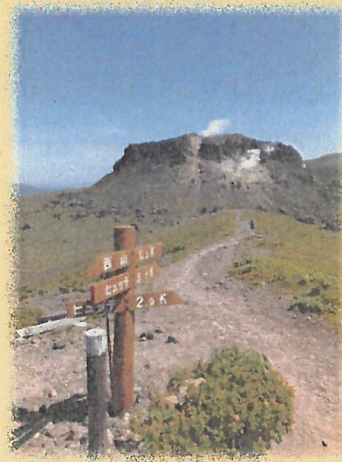
(写真は、札幌地方・家庭裁判所苫小牧支部、苫小牧簡易裁判所庁舎)

苫小牧市における裁判所の歴史は、昭和22年に苫小牧簡易裁判所が設置されたことに始まり、昭和26年に現在の苫小牧市旭町に旧々庁舎、昭和39年に旧庁舎のしゅん工を経て、平成元年に地家裁支部設置（家裁出張所廃止）が決まり、平成5年の新庁舎完成とともに地家裁苫小牧支部・同簡裁として開庁して現在に至っています。JR苫小牧駅から続く苫小牧市カルチャーストリートの一角に位置し、支部庁舎としては数少ない5階建ての外壁は、3階以上が明るいツートーンの暖色タイルで仕上げられ、周辺への威圧感と建物形状の単調さの軽減を図った造りになっています。

庁舎の北西には、世界でも珍しい熔岩ドーム（北海道指定天然記念物）のある標高1041mの活火山「樽前山」を望むことができます。同山を含む一帯は、平成20年に主要国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）の開催地となった支笏洞爺国立公園の一部となっています。



(写真は、樽前山（裁判所庁舎から望む樽前山）)



(写真は、樽前山（樽前山熔岩ドーム）)

告

示

◎最高裁判所告示第三号

民事訴訟法（平成八年法律第九号）第三百三十二条の十第一項に規定する電子情報処理組織を用いてする民事訴訟手続及び行政事件訴訟手続における申立てその他の申述を取り扱う裁判所が最高裁判所により次に掲げるものと定められたので、民事訴訟法第百三十二条の十第一項に規定する電子情報処理組織を用いて取り扱う民事訴訟手続における申立てその他の申述等に関する規則（令和四年最高裁判所規則第一号）第一条第二項に基づき告示する。

令和五年八月四日

最 高 裁 判 所 長 官 戸 倉 三 郎

裁 判 所 効力を生ずる日

東京高等裁判所 令和五年九月十二日



(別紙)

叙 位 ・ 叙 勲 (令和5年6月、死亡者のみ)

元日本弁護士連合会理事	宮 城 嗣 宏	6. 7	従五位
元津地方裁判所事務局次長	井 波 憲 彦	6. 11	正六位
元福井簡易裁判所判事	加 藤 義 朗	6. 12	従四位
元藤沢簡易裁判所判事	鳶 田 悟	6. 12	従四位
元大阪高等裁判所判事	高 橋 金次郎	6. 15	従三位
元大阪簡易裁判所判事	田 中 敏 治	6. 15	従四位
元日本弁護士連合会副会長	河 村 正 和	6. 20	正五位
元日本弁護士連合会理事	濱 田 英 敏	6. 25	従五位
元大阪家庭裁判所調停委員	山 本 節 子	6. 25	従六位
元福島家庭裁判所事務局長	川 口 勝 雄	6. 26	正五位